

News Release

平成 22 年 1 月 25 日
内閣官房 国家戦略室

今後 3 年間の国家財政の歳入および歳出の骨格を示す、 「中期財政フレーム」等の策定の論点整理を開始

国家戦略室においては、「予算編成のあり方に関する検討会」論点整理（平成 21 年 10 月 19 日）及び、「予算編成の基本方針」（平成 21 年 12 月 15 日閣議決定）に基づき、平成 23～25 年度の歳入・歳出の骨格を示す「中期財政フレーム」及び、中長期的な財政健全化の道筋を示す「財政運営戦略」の策定へ向けて、「中期的な財政運営に関する検討会」を開始致しました。具体的な体制および今後のスケジュールは以下のとおりです。

1. 中期的な財政運営に関する検討会の体制

（政府側メンバー）

仙谷 由人 国家戦略担当大臣
松井 孝治 内閣官房副長官
荒井 聡 内閣総理大臣補佐官
古川 元久 国家戦略室長
野田 佳彦 財務副大臣
津村 啓介 内閣府大臣政務官
大串 博志 財務大臣政務官

（有識者メンバー）

井手 英策（慶應義塾大学経済学部准教授）
片山 善博（慶應義塾大学法学部教授）
河野 龍太郎（BNPパリバ証券チーフエコノミスト）
田中 秀明（一橋大学経済研究所准教授）
土居 丈朗（慶應義塾大学経済学部教授）
富田 俊基（中央大学法学部教授）

（敬称略）

2. 今後のスケジュール

- ・第 1 回会合開催：1 月 25 日（月）17 時～18 時半
- ・以後、おおむね 2 週間に 1 回程度開催
- ・3 月末までを目途に、論点整理を取りまとめ

3. 会議の公開等について

- ・会議は非公開、ただし検討会終了後にブリーフィング有り

【お問い合わせ先】

国家戦略室 高田、服部、二宮 電話番号 03-3581-9272

News Release

【ご参考】

「予算編成のあり方に関する検討会」論点整理（平成21年10月19日）抜粋

第1の柱 複数年度を視野に入れた、トップダウン型の予算編成 23年度予算以降から実施

- ① 平成 23～25 年度の3年間の歳入見込み及び、各分野の歳出の骨格と歳出削減策を含む、中期財政フレームを策定する。
- ② 各年度の予算要求・予算編成は中期財政フレームと各年の歳入見積もりを基本として行うこととし、実質的な複数年度予算編成を実現する。
- ③ 中期財政フレームは、国の財政活動を包括的にとらえるものとする。また、国と地方の財政関係についても、このフレームの中で整合的に、財政規律の強化・安定化を図る。
- ④ この前提として、中長期的な財政規律のあり方を含めた、「財政運営戦略」を併せて策定し、責任ある財政運営を行う。

「予算編成の基本方針」（平成21年12月15日閣議決定）抜粋

5. 予算編成過程を刷新する

(3) 予算編成改革

新政権は、予算編成・執行プロセス自体を改革し、中長期的な予算の効率化・財政健全化の枠組みを作る。このため、「予算編成等の在り方の改革について」（平成21年10月23日閣議決定）等に基づく改革の実現に向けて取組を進める。とりわけ、政策評価や、施策の効果の客観的な検証を予算編成に的確に反映させるために、国家戦略室が指針を示す。

また、来年前半には複数年度を視野に入れた中期財政フレームを作るとともに、中長期的な財政規律の在り方を含む「財政運営戦略」を策定し、財政健全化への道筋を示す。その際、諸外国の取組も参考としながら、①構造的な財政赤字の削減につなげる、②中長期的には公的債務残高の対GDP比を安定的に縮減させていく、ことを念頭に置いて検討を進める。